

<p>【評価視点】 1－(1)－① 自主事業計画（提案事業）に記載された事業を行っているか？</p>	<p>【評価算式】 ①実施事業数÷計画業務数 ②実施事業数－計画業務数</p>
<p>【算式資料収集方法】 ・実施事業数は指定管理者（以下「指」とする。）からの報告を基にする（業務内容も確認する） ・計画業務数は業務計画書を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：「4点」における計画業務に上乘せする事業数が3事業以上であるとき 4点：当初予算の指定管理料内であり、市の承認を受けた上で、計画業務に上乘せして事業を実施したとき（「3点」の結果を満たすこと） 3点：算式①結果が「1」、かつ、②結果が「0」のとき 2点：算式①結果が「0.9以上1未満」、又は、②結果が「△2」のとき。 あるいは、「3点」の結果を満たすが、市に連絡なく計画業務を変更したとき。 1点：「2点」の結果に満たないとき</p>	
<p>・行っている。①15（実施数）÷15（計画数）＝1 ②15（実施数）－15（計画数）＝0 平成29年度 文化・芸術を振興する事業 3事業 文化・芸術作品展示事業 5事業 主催公演事業 7事業 の地域文化振興事業15事業を計画。 文化・芸術を振興する事業 3事業 文化・芸術作品展示事業 5事業 主催公演事業 7事業 の地域文化振興事業15事業を実施。</p>	
<p>【評価視点】 1－(1)－② 自主事業計画の事業目的を達成したか？</p>	<p>【評価算式】 実施事業目的達成数－実施事業目的数（業務計画書記載事業）</p>
<p>【算式資料収集方法】 ・実施事業目的達成数は指からの報告を基にする ・実施事業目的数は業務計画書及び指からの報告を基にする *指からの報告を受ける目的及び目的達成についてはできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の事業については、前年の実績値を基準とすることもある</p>	
<p>【点数化】 5点：「3点」の結果を満たし、かつ、実施事業目的達成の度合いが2事業以上の特筆すべきものがあるとき 4点：「3点」の結果を満たし、かつ、実施事業目的達成の度合いが1事業でも特筆すべきものがあるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「△1及び△2」のとき 1点：「2点」の結果に満たないとき</p>	
<p>・達成した。15（実施事業目的達成数）－15（実施事業目的数）＝0</p>	

評価基準・根拠（産業文化会館）

文化・芸術を振興する講座事業（計画/結果）

- (1)文化芸術講座 産文絵画教 120人/198人
- (2)きもの着付け教室 100人/152人
- (3)伝統文化おやこ教室 300人/112人

文化・芸術作品展示事業

- (4)県展入選作品展 500人/ 522人
- (5)公募 行田市美術展 1,500人/1,594人
- (6)アートギャラリー特別展（4回） 1,200人/1,641人
- (7)アートギャラリー企画展 200人/ 222人
- (8)行田市文化祭 1,000人/4,835人

主催公演事業

- (9)ときめきレインボーフェスティバル 800人/1,050人
- (10)サロンコンサート 400人/ 355人
- (11)市民文化交流事業 100人/ 182人
- (12)邦楽邦舞のつどい 700人/ 335人
- (13)野村万作・萬斎狂言の会 行田公演 900人/ 877人
- (14)まちの賑わい“感謝祭”音楽と菓子の祭典・ステージイベント 1,000人/1,350人
- (15)郷土芸能市民の集い 700人/ 900人

<p>【評価視点】 1－（１）－③ 自主事業計画の事業の参加人数は？</p>	<p>【評価算式】 各事業計画の目標参加人数－各事業の参加人数</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業の参加人数は指からの報告を基にする ・各事業計画の目標参加人数は業務計画書及び指からの報告を基にする <p>*指からの報告を受ける目標参加人数についてはできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の事業については、前年の実績値を基準とすることもある</p>	
<p>【点数化】</p> <p>5点：各事業の参加人数が、それぞれ目標の参加人数の1.2倍以上のとき</p> <p>4点：各事業の参加人数が、それぞれ目標の参加人数を上回るとき</p> <p>3点：1つの事業の参加人数が目標の参加人数に達しないが、全ての事業の合計人数では目標を上回るとき</p> <p>2点：複数の事業の参加人数が目標の参加人数に達しないが、全ての事業の合計人数では目標を上回るとき</p> <p>1点：複数の事業の参加人数が目標の参加人数に達せず、また、全ての事業の合計人数でも目標を下回るとき</p>	

1 文化・芸術を振興する講座事業(計画/結果)

- (1)文化芸術講座 産文絵画教 120人/198人
- (2)きもの着付け教室 100人/152人
- (3)伝統文化おやこ教室 300人/112人

文化・芸術作品展示事業

- (4)県展入選作品展 500人/ 522人
- (5)公募 行田市美術展 1,500人/1,594人
- (6)アートギャラリー特別展（4回） 1,200人/1,641人
- (7)アートギャラリー企画展 200人/ 222人

評価基準・根拠（産業文化会館）

(8) 行田市文化祭 1,000人/4,835人

主催公演事業

(9) ときめきレインボーフェスティバル 800人/1,050人

(10) サロンコンサート 400人/355人

(11) 市民文化交流事業 100人/182人

(12) 邦楽邦舞のつどい 700人/335人

(13) 野村万作・萬斎狂言の会 行田公演 900人/877人

(14) まちの賑わい“感謝祭”音楽と菓子の祭典・ステージイベント 1,000人/1,350人

(15) 郷土芸能市民の集い 700人/900人

計画人数/結果人数 合計 9,520人/14,325人

<p>【評価視点】 1－(1)－④</p> <p>サービスを向上させるための方策は達成しているか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>サービスを向上させるための方策の達成÷サービスを向上させるための方策</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方策の達成は指からの報告を基にする ・方策は業務計画書及び指からの報告を基にする ・実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「1」で、各方策において、前年度より特筆すべきサービス向上がみられたとき</p> <p>4点：算式結果が「1」で、各方策全てが前年度よりサービス向上したとき</p> <p>3点：算式結果が「1」のとき</p> <p>2点：算式結果が「1未満」でも、前年度よりサービス向上したとき</p> <p>1点：算式結果が「1未満」で、前年度よりサービス低下したとき</p>	

・順調に達成している。

$$1.7 \text{ (サービスを向上させるための方策の達成)} \div 1.7 \text{ (サービスを向上させるための方策)} = 1$$

1. 日常の施設巡回
2. 受動喫煙対策の実施
3. 施設利用者の問い合わせ等に対しニーズに合った案内を行い、快適な利用の提供
4. 託児室（授乳室）を提供し利便性の向上を図る
5. SNS を活用し最新情報を随時更新
6. 会館情報紙「リード」を発行した外ポスター及びチラシを活用して、公共施設・JR 駅掲示板・学校等に情報発信を行い、周知を図る
7. 県内外近隣施設との相互 PR の実施
8. 電子チケットサービスを活用しインターネットでのチケット購入に対応
9. 多くの会員を抱える企業・団体（コープサービス及びワークメイト大里）と提携し会員への在宅購入のサービスの実現を図る
10. ホールトイレに行田市の既設の風景写真を飾ることでトイレの雰囲気を変更
11. 会館棟入り口のモニターを利用し主催公演事業のプロモーションビデオを流し来館者サービスの実施
12. 市内特定郵便局にポスターを配布
13. 利根地域振興センターにポスター及びチラシの配布
14. 行田市役所及び議会事務局内議員レター ケースにチラシの配布。
15. 行田市商店会連合会にポスターの配布。

評価基準・根拠（産業文化会館）

16. 秩父鉄道行田市駅掲示板にポスターの掲示

17. いきいき財団ホームページリニューアルを実施し迅速な情報提供を開始

<p>【評価視点】 1－（１）－⑤ 利用者等のニーズ把握を行っているか？</p>	<p>【評価算式】 ①ニーズ把握調査回数 ②ニーズ把握数</p>
<p>【算式資料収集方法】 ・ニーズ把握調査回数及び把握数は指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：「4点」の結果を満たし、かつ、ニーズ把握方法が、アンケート実施、手紙・メールを利用するとともに、障害者等へのニーズ把握配慮など、把握方法においても、特筆すべきものがあるとき 4点：算式①結果が「4回以上」、かつ、②結果が「30個以上」のとき 3点：算式①結果が「4回以上」、又は、②結果が「30個以上」のとき 2点：算式①結果が「2回、又は、3回」、又は、②結果が「10個以上30個未満」のとき 1点：「2点」の結果に満たないとき</p>	

行っている。

1. 多くの来場者が見込める主催公演事業でアンケート調査の実施
 2. チケット購入時等の日常会話から聞き取り調査の実施
 3. ホームページ内のお問い合わせホームを活用し、意見、要望等の受付
 4. ご意見箱の設置
 5. 教育文化センターみらいとの連携で利用者ニーズの確認とその対応の摺り合わせ
- ①ニーズ把握調査回数 3回 ②ニーズ把握数 638件

<p>【評価視点】 1－（１）－⑥ 把握した利用者等のニーズの実現を図ったか？</p>	<p>【評価算式】 ニーズ実現数÷ニーズ実現可能数</p>
<p>【算式資料収集方法】 ・ニーズ実現数は指からの報告を基にする ・ニーズ実現可能数は、指から報告を受けたニーズ把握数を基に、所管課により、実現可能なニーズを抽出する（ニーズとウォンツの振り分け）</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「1」、かつ、当該ニーズ提出者のみならず、全ての利用者等に対し、サービス向上に寄与するとき 4点：算式結果が「1」のとき 3点：算式結果が「0.8以上1未満」のとき 2点：算式結果が「0.4以上0.8未満」のとき 1点：「2点」に満たないとき</p>	

・行っている。 $5（ニーズ実現数） \div 5（ニーズ実現可能数） = 1$
実現数及び実現可能数

1. 会館主催事業が知りたい 会館情報紙「リード」の発行
2. クラシックを聞いてみたい サロンコンサート「プチオケ」の開催。
3. ロッカーがないか 総合公園プールのロッカーを活用し、構造変更させ無料ロッカーとして会館ホール利用者に供用開始

評価基準・根拠（産業文化会館）

4. チケット販売場所の拡大要望 購入場所を増やしてほしいとの要望から熊谷方面の方も購入できるように「ワークメト大里」と提携しチケット販売場所の拡大
5. 観光大使のコンサートを開催してほしい。 令和元年度事業に計画（スターダストレビューコンサート）

【評価視点】 1 - (2) - ① 利用者や地域との連携・協働を行っているか？	【評価算式】 連携・協働事業回数の合計
【算式資料収集方法】 連携・協働事業回数は指からの報告を基にする	
【点数化】 5点 ：「4点」の結果を満たし、かつ、連携等が広がりを見せていることが顕著なとき 4点：算式結果が「4回以上」、かつ、利用者や地域との連携等が継続しているとき 3点：算式結果が「3回」のとき 2点：算式結果が「2回」のとき 1点：「2点」に満たないとき ・行っている。 1.行田市 2.行田市教育委員会 3.行田市商工観光課 4.行田市観光協会 5.行田市観光ボランティアガイド 6.行田市文化団体連絡協議会 7.行田市菊花連絡協議会 8.埼玉県 9.埼玉県利根地域振興センター 10.全国公立文化施設協議会 11.埼玉県公立文化施設協議会 12.行田市商店会連合会 13.行田市美術家協会 14.行田美術会 15.行田市書道人連盟 16.行田市音楽家協会 17.行田アンサンブル協会 18.行田市合唱連盟 19.コスモプリンツ株式会社（民間企業）20.各プレイガイド（民間企業）21.忍城おもてなし甲冑隊 22.市内小中学校 23.郷土芸能市民の集い実行委員会 24.埼玉県文化資源課（県展） 25.行田市内特定郵便局 26.行田市観光物産会 27.行田市商店会連合会 28.秩父鉄道行田市駅	

【評価視点】 1 - (3) - ① 苦情等を適切に処理しているか？	【評価算式】 未解決苦情等数
【算式資料収集方法】 ・未解決苦情等数は指からの報告を基にする	
【点数化】 5点：算式結果が「0」、かつ、全ての苦情について円満な解決が図られ、かつ、特筆すべき方法により、自ら積極的に苦情等を発信しない人々へのアプローチも行っているとき 4点 ：算式結果が「0」、かつ、全ての苦情について円満な解決が図られているとき 3点：算式結果が「0」ではないが、すべての苦情について円満な解決が図られる見込みのあるとき 2点：苦情について円満な解決が図られる見通しが不明なものがあるとき 1点：意思疎通にかけ、苦情解決の糸口が見出せないものがあるとき ・未解決苦情等数0件	

【評価視点】 1 - (4) - ① 特定の市民・団体に対して、条例や規則での規定事項以外で対応したことがあるか？	【評価算式】 サービスの提供に関して条例・規則以外での対応回数
【算定資料収集方法】 ・利用状況について指からの報告を基にする ・指に対して、聴き取り調査を行う	

評価基準・根拠（産業文化会館）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 実地調査を行う
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」、かつ、条例・規則の範囲内での新たなサービス向上が図られたとき</p> <p>4点：算式結果が「0」、かつ、条例・規則の範囲内での工夫が見受けられるとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき、又は、算式結果が「0」ではないが、事前に市に対して照会・連絡を行っているとき</p> <p>2点：算式結果が「0」ではなく、事後に市に対して報告・連絡を行っているとき</p> <p>1点：算式結果が「0」ではなく、市に対しても報告・連絡を怠っているとき</p> <p>・ 該当なし。サービスの提供に関して条例・規則以外での対応回数0回</p>

<p>【評価視点】 2－（1）－①</p> <p>経費節減の取組みを実施しているか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>経費節減のための取組みの方策の実施 ÷ 経費節減のための取組みの方策</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 方策の実施は指からの報告を基にする ・ 方策は業務計画書及び指からの報告を基にする ・ 実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「1」で、すべての方策において、特筆すべき取組みが見受けられたとき</p> <p>4点：算式結果が「1」で、特筆すべき取組みが見受けられたとき</p> <p>3点：算式結果が「1」のとき</p> <p>2点：算式結果が「1未満」でも、経費節減のための取組みが見受けられたとき</p> <p>1点：算式結果が「1未満」のとき</p> <p>・ $8（経費節減のための取組みの方策の実施） \div 8（経費節減のための取組みの方策） = 1$</p> <p>節減の方策の実施及び取り組みの方策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 照明の節電を行い、光熱水料費の節減を図る（点灯管の間引き等） 2. 発注価格の精査や見積もりあわせによる物件単価の抑制（消耗品や修繕費等） 3. 清掃設備業務の仕様の見直し及び長期継続契約の導入による委託料の削減 4. 舞台業務の仕様の見直し及び長期継続契約の導入による委託料の削減 5. 臨時職員の適正な人員配置による人件費の抑制 6. 必要時必要な分だけの消耗品購入による消耗品支出の節減 7. クールビズ・ウォームビズの推進による冷暖房エネルギーの節減 8. 職員個々のノー残業の推進 	

<p>【評価視点】 2－（1）－②</p> <p>経費節減の効果が現れているか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>当該年度の経費節減のための取組みの方策を受けた経費と前年との経費の比較</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経費の確認は事業計画書と指からの報告を基にする 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：経費節減のための取組みの方策を受けた経費の合計、及び、各方策の経費が、前年の経費の合計、及び、すべての各方策の経費を下回ったとき</p> <p>4点：経費節減のための取組みの方策を受けた経費の合計が、前年の経費を下回ったとき</p>	

評価基準・根拠（産業文化会館）

<p>3点：経費節減のための取組みの方策を受けた経費の合計が、評定初年度の経費を下回ったとき</p> <p>2点：経費節減のための取組みの方策を受けた経費の合計が、評定初年度の経費を上回ったとき</p> <p>1点：経費節減のための取組みの方策を受けた経費の合計が、特段の理由もなく、評定初年度の経費を上回り、かつ、各方策の経費のうち、半分以上の方策の経費が、評定初年度の経費を上回ったとき</p>
--

・適切な管理を行っている。

（平成30年度は会館ホール8月～翌年3月まで工事による休館であった）

平成29年度（4月から3月までの12か月）

・賃金 4,525,820円 ・消耗品費 1,932,875円
 ・光熱水料費 10,643,659円 ・委託料 53,053,169円

平成30年度（4月から3月までの12か月）

・賃金 4,198,706円 ・消耗品費 1,343,294円
 ・光熱水料費 7,785,847円 ・委託料 38,301,381円

<p>【評価視点】 2－（1）－③ 施設全体として、前年度より経費が縮減されているか？</p>	<p>【評価算式】 全ての経費と前年度の経費の比較</p>
<p>【算式資料収集方法】 ・経費の確認は事業計画書と指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：経費の合計が前年度の経費の95%以下のとき 4点：経費の合計が前年度の経費の98%以下のとき 3点：経費の合計が前年度の経費の98%～100%のとき 2点：経費の合計が前年度の経費の100%を越え、102%までのとき 1点：経費の合計が前年度の102%を越えるとき</p>	

・縮減を図れている。

<総支出>

平成30年度 94,703,864円 平成29年度 118,901,643円 前年度比 79.6%

<p>【評価視点】 2－（2）－① 収支計画の金額以内で適切に支出されているか？</p>	<p>【評価算式】 実際にかかった経費と事業計画書の収支計画との比較</p>
<p>【算式資料収集方法】 ・経費の確認は事業計画書と指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：経費の支出が収支計画の金額以内で項目に則って行われており、かつ、すべての支出項目が収支計画の合計金額以内で項目に則って行われているとき 4点：経費の支出が収支計画の合計金額以内で項目に則って行われており、かつ、事業費が収支計画の合計金額以内で項目に則って行われているとき 3点：経費の支出が収支計画の合計金額以内で項目に則って行われているとき 2点：経費の支出が収支計画の金額を越え、又は、項目に則らず行われているとき（流用含む） 1点：経費の支出が収支計画の金額を越え、又は、項目に則らず行われているとき（流用含まない）</p>	

・収支計画の金額以内において適切に支出されている。

評価基準・根拠（産業文化会館）

平成 30 年度計画支出 96,562,000 円

平成 30 年度決算支出 90,154,864 円 計画比 93.4%

<p>【評価視点】 3－（1）－① 施設の利用人数は？</p>	<p>【評価算式】 当該年度の利用人数と前年の利用人数の比較</p>
<p>【算式資料収集方法】 ・利用人数は指からの報告を基にする *参考資料として、他市の類似施設の利用人数の把握を行う</p>	
<p>【点数化】 5点：当該年度の利用人数が、前年の利用人数の 110%を超えるとき 4点：当該年度の利用人数が、前年の利用人数の 105%を超えるとき 3点：当該年度の利用人数が、前年の利用人数の 100%を超えるとき 2点：当該年度の利用人数が、前年の利用人数の 100%を下回るとき 1点：当該年度の利用人数が、前年の利用人数の 90%を下回るとき</p>	
<p>・平成 29 年度 24,583 人 平成 30 年度 25,174 人 前年度比 102.4% (平成 30 年度は会館ホール 8 月～翌年 3 月まで工事により休館であった)</p>	
<p>【評価視点】 3－（1）－② 施設の稼働率は？</p>	<p>【評価算式】 当該年度の稼働率と前年の稼働率の比較</p>
<p>【算式資料収集方法】 ・稼働率は指からの報告を基にする *参考資料として、他市の類似施設の稼働率の把握を行う</p>	
<p>【点数化】 5点：当該年度の稼働率が、前年の稼働率の 110%を超えるとき 4点：当該年度の稼働率が、前年の稼働率の 105%を超えるとき 3点：当該年度の稼働率が、前年の稼働率の 100%を超えるとき 2点：当該年度の稼働率が、前年の稼働率の 100%を下回るとき 1点：当該年度の稼働率が、前年の稼働率の 90%を下回るとき</p>	
<p>・前年度比 92.3% 施設全体の稼働率は、356 日開館実績/356 日開館で 100%である。 施設は、通常の休館日のほか、閉鎖を必要とする施設点検のみの休館。(平成 30 年度はホールのみ 8 月から平成 31 年 3 月まで工事による休館であった) 平成 30 年度 *ホール 29% *第 1 会議室 39% *第 2 会議室 52% *第 3 会議室 52% *創作室 32% 平成 29 年度 *ホール 31% *第 1 会議室 40% *第 2 会議室 54% *第 3 会議室 52% *創作室 44%</p>	
<p>【評価視点】 3－（1）－③ 利用の許可、停止、許可の取消し等を条例や仕様書等に基づき行っているか？</p>	<p>【評価算式】 管理に関して条例・仕様書等以外での対応回数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p>	

評価基準・根拠（産業文化会館）

<ul style="list-style-type: none"> ・管理状況について指からの報告を基にする ・実地調査を行う ・指に対して、聴き取り調査を行う
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」、かつ、条例・仕様書等の範囲内の新たなサービス向上が図られたとき</p> <p>4点：算式結果が「0」、かつ、条例・仕様書等の範囲内の工夫が見受けられるとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき、又は、算式結果が「0」ではないが、事前に市に対して照会・連絡を行っているとき</p> <p>2点：算式結果が「0」ではなく、事後に市に対して報告・連絡を行っているとき</p> <p>1点：算式結果が「0」ではなく、市に対しても報告・連絡を怠っているとき</p>

・行っている。管理に関して条例・仕様書等以外での対応回数0回

<p>【評価視点】 3－（1）－④</p> <p>利用の許可を拒み、取消し、停止させた者について、その記録を作成し、速やかに報告したか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>利用を拒否等したもののうち、記録の作成・報告しなかった回数</p>
---	---

<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用拒否等及び記録の作成については指からの報告を基にする ・報告については、実際に受けた報告の回数を基にする

<p>【点数化】 利用の拒否等があった場合が前提となる</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、記録の作成が詳細になされ、速やかに報告され、かつ、特筆すべき事項があるとき</p> <p>4点：算式結果が「0」であり、記録の作成が詳細になされ、速やかに報告されているとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「0」でないとき</p> <p>1点：記録の作成がされておらず、算式にあてはめることもできないとき</p>

・該当なし。利用を拒否等したもののうち、記録の作成・報告しなかった回数0回

<p>【評価視点】 3－（1）－⑤</p> <p>利用申請書どおりに利用していることについて確認を行っているか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>利用者が利用している間中、管理者職員（委託された者を含む）が常駐していない回数</p>
---	---

<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理内容について指からの報告を基にする ・実地調査を行う

<p>【点数化】</p> <p>5点：（無料施設を含み）算式結果が「0」であり、かつ、特筆すべき事項があるとき</p> <p>4点：（無料施設を含み）算式結果が「0」のとき</p> <p>3点：（無料施設を除き）算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：（無料施設を除き）算式結果が「1以上3以下」のとき</p> <p>1点：（無料施設を除き）算式結果が「4以上」のとき</p>
--

・行っている。
利用者が利用している間中、管理者職員（委託された者を含む）が常駐していない回数0回

<p>【評価視点】 3－（2）－①</p>	<p>【評価算式】</p>
------------------------------	----------------------

評価基準・根拠（産業文化会館）

利用者に対し適切に利用料金を収受しているか？	利用料金を過大・過少に徴収している回数
【算定資料収集方法】 ・利用者数と利用料金について指からの報告を基にする	
【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき（減免方法等も適切な事務手順の基づき決定していること） 2点：算式結果が「0」であるが、納入時期・方法・減免方法等が条例・規則等との乖離が見られるとき 1点：算式結果が「0」でないとき	

・適切に利用料金を収受している。利用料金を過大・過少に徴収している回数0回
 料金収受に誤りのないよう事前に詳細説明の上当事者了解のもと収受に努めている。

【評価視点】 3－（2）－② 収支計画どおりに利用料金収入があるか？	【評価算式】 利用料金収入と事業計画書の収支計画との比較
【算式資料収集方法】 ・利用料金の確認は事業計画書と指からの報告を基にする	
【点数化】 5点：「4点」の事項を満たし、施設利用料金収入と事業収入の合計金額が、前年度の105%以上のとき 4点：施設利用料金収入及び事業収入の合計額が収支計画の当該項目の合計金額以上の収入があり、かつ、それぞれの項目についても収支計画の金額以上の収入があるとき 3点：施設利用料金収入及び事業収入の合計額が収支計画の当該項目の合計金額以上の収入があるとき 2点：施設利用料金収入及び事業収入の合計額が収支計画の当該項目の合計金額に満たないとき 1点：施設利用料金収入及び事業収入のそれぞれの金額が収支計画のそれぞれの項目の金額に満たないとき	

・前年度比 94.6%

合算予算額	7,770,000 円	・利用料金	3,000,000 円	・文化事業収益	4,770,000 円
合算決算額	7,350,820 円	・利用料金	3,226,820 円	・文化事業収益	4,124,000 円

【評価視点】 3－（2）－③ 利用申請時間外の利用について、適切に利用料金を収受しているか？	【評価算式】 申請時間外（超過時間）の利用について、適切に利用料金の収受を行っていない回数
【算式資料収集方法】 ・申請時間外の利用及び適切な利用料金の収受については指からの報告を基にする ・申請時間外の利用については実地調査を行う	
【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき	

評価基準・根拠（産業文化会館）

<p>3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないとき 1点：把握をしていないとき</p> <p>・該当なし。申請時間外（超過時間）の利用について、適切に利用料金の収受を行っていない回数0回</p>	
<p>【評価視点】 3－（3）－① 休館日及び利用時間、利用料金（減免制度含む）を、見やすい場所に掲示、又は、備付け等しているか？</p>	<p>【評価算式】 掲示、又は、備付け等していない事項</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・実地調査を行う</p>	
<p>【点数化】 5点：「4点」の結果を満たし、かつ、周知の仕方について、特筆すべき事項があるとき 4点：全ての事項について、掲示、及び、備付けしているとき 3点：全ての事項について、掲示、又は、備付けしているとき 2点：一部の事項について、掲示、又は、備付けしているとき 1点：掲示、又は、備付けがないとき</p> <p>1. 掲示 2. リニューアルホームページでの周知 3. SNS を活用しての情報発信</p>	
<p>【評価視点】 3－（3）－② 受動喫煙を防止する措置を講じているか？</p>	<p>【評価算式】 受動喫煙防止措置を講じているが、防止の効果が現れていない状況</p>
<p>【算式資料収集方法】 ・実地調査を行う</p>	
<p>【点数化】 5点：受動喫煙の防止措置を行った結果、喫煙者以外の利用者等に受動喫煙の恐れが一切なく、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：受動喫煙の防止措置を行った結果、喫煙者以外の利用者等に受動喫煙の恐れが一切なく、特筆すべき事項があるとき 3点：受動喫煙の防止措置を行った結果、喫煙者以外の利用者等に受動喫煙の恐れが一切ないとき 2点：受動喫煙の防止措置を行ったが、喫煙者以外の利用者等に受動喫煙の恐れが生じるとき 1点：受動喫煙の防止を講じていないとき、又は、「2点」の状況について改善が見受けられないとき</p> <p>・全て禁煙</p>	
<p>【評価視点】 3－（3）－③ 施設及び設備について定期的に保守点検を行い、その記録を作成しているか？</p>	<p>【評価算式】 ①記録未作成回数 ②保守点検不備による事故発生件数</p>
<p>【算式資料収集方法】 ・記録表等については指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】</p>	

評価基準・根拠（産業文化会館）

5点：定期的に保守点検を行っているとき、かつ、算式①・②結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき
4点 ：定期的に保守点検を行っているとき、かつ、算式①・②結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき
3点：定期的に保守点検を行っているとき、かつ、算式①・②結果が「0」のとき
2点：定期的に保守点検を行っているが、算式①結果が「0」でなく、②結果が「0」のとき
1点：定期的に保守点検を行っていないとき、かつ、算式①・②結果が「0」でないとき
・職員、設備員、舞台社員含め特に緊急時は、業務日誌に記録するよう努めている。 ①記録未作成回数0回 ②保守点検不備による事故発生件数0件

【評価視点】 3－（3）－④ 施設、設備、物品の維持管理を適切に行い、必要な修繕を速やかに行っているか？	【評価算式】 修繕不備による事故発生件数
【算定資料収集方法】 ・事故発生件数については指からの報告を基にする ・実地調査を行う	
【点数化】 5点 ：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」であるが、実地調査により必要な修繕が実施されていないとき 1点：算式結果が「0」でないとき	

・適切な維持管理及び修繕を行っている。修繕不備による事故発生件数0件
空調関係では、緊急時、保守点検業者と設備員の連携ができており、老朽化した真空タンクを事前に真空引きするなど突発的な事故の予防に努めている。また、保守点検業者の休業日（土日祝）でもほぼ対応できる体制も整えている。

【評価視点】 3－（3）－⑤ 施設、設備、物品を滅失し、又は施設、設備、又は物品の重要な箇所を毀損したときは速やかに報告しているか？	【評価算式】 速やかな報告を実施していない回数
【算定資料収集方法】 ・報告については指からの報告を基にする ・実地調査を行う	
【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点 ：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないが、実地調査により滅失等への対応が施されていると確認できるとき 1点：算式結果が「0」でなく、かつ、実地調査により滅失等への対応が施されていないと確認できるとき	

・速やかな報告を実施していない回数1回
催し物開催時ホール玄関のガラス破損発生。報告の遅延が発生した。

評価基準・根拠（産業文化会館）

対策として、所管課と協議を行い、報告方法のマニュアルが整備された。

<p>【評価視点】 3－（3）－⑥ 建物の改築、構築物の新設等、機械装置の新設等の現状変更をしようとするときは、予め協議し、承認を受けているか？</p>	<p>【評価算式】 予め協議し、又は、承認を受けていない回数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認については指からの報告を基にする ・実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないが、必要不可欠な変更と見受けられるとき 1点：算式結果が「0」でなく、不必要な変更と見受けられるとき</p>	

・該当なし。予め協議し、又は、承認を受けていない回数0回

<p>【評価視点】 3－（3）－⑦ 管理施設の修繕・改築において、1件につき見積額50万円（消費税及び地方消費税を含む）未満のものについては指定管理者の費用と責任において実施したか？</p>	<p>【評価算式】 費用及び責任における未実施回数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施については指からの報告を基にする ・実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないが、必要不可欠な実施と見受けられるとき 1点：算式結果が「0」でなく、不必要な実施と見受けられるとき</p>	

費用及び責任における未実施回数0回

- ・2F 第二会議室他照明交換修繕
- ・舞台用インターカムベルトパック修繕
- ・AHU-1V ベルト修繕
- ・ホール棟3F 映写室系統エアコン修繕
- ・冷水器排水管詰まり修繕
- ・第4化粧室空調機修繕
- ・事務室内非常灯バッテリー交換修繕
- ・教育委員会事務室照明灯修繕
- ・管理棟1F 女子トイレ換気窓修繕
- ・舞台系統冷温水発生器圧力計交換修繕
- ・第二化粧室空調機電源配線修繕

評価基準・根拠（産業文化会館）

- ・調光室空調機基板交換修繕
- ・舞台系統冷温水発生機内冷温水ポンプ修繕

<p>【評価視点】 3－（3）－⑧ 指定管理者は、故意又は過失により備品等（I種）を毀損滅失した時は、市と協議し、必要に応じて市に対しこれを弁償又は自己の費用で当該物と同等の機能及び価値を有するものを購入又は調達したか？</p>	<p>【評価算式】 弁償又は購入、あるいは調達していない回数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・把握については指からの報告を基にする ・実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0を越え2以内」のとき 1点：算式結果が「3以上」のとき</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・該当なし。弁償又は購入、あるいは調達していない回数0回 	
<p>【評価視点】 3－（3）－⑨ 管理にあたっての準備行為や清算行為等の引継ぎを適切に行っているか？</p>	<p>【評価算式】 ①不適切な準備行為回数 ②不適切な清算行為回数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・把握については指からの報告を基にする ・実地調査を行う ・聴き取り調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式①・②結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式①・②結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式①・②結果が「0」のとき 2点：算式①・②結果が「0」でないが、円滑なサービス提供ができ、かつ、利用者等に影響を与えないと見受けられるとき 1点：算式①・②結果が「0」でなく、円滑なサービス提供ができず、又は、利用者等に影響を与えたと見受けられるとき</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・該当なし。①不適切な準備行為回数0回 ②不適切な清算行為回数0回 	
<p>【評価視点】 3－（4）－① 臨時に管理施設の休館日を定める場合、承認を受けたか？</p>	<p>【評価算式】 承認を受けない回数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・把握については指からの報告を基にする 	

評価基準・根拠（産業文化会館）

<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき</p>
--

- ・承認を受けない回数0回

<p>【評価視点】 3－（4）－② 施設等の利用時間を変更する場合、承認を受けたか？</p>	<p>【評価算式】 承認を受けない回数</p>
--	---

<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする</p>

<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき</p>
--

- ・該当なし。承認を受けない回数0回

<p>【評価視点】 3－（4）－③ 施設等を引き続いて利用することができる期間を変更する場合、承認を受けたか？</p>	<p>【評価算式】 承認を受けない回数</p>
---	---

<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする</p>

<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき</p>
--

- ・該当なし。承認を受けない回数0回

<p>【評価視点】 3－（5）－① 指定管理業務に係る会計処理を、他の事業と区分して経理しているか？</p>	<p>【評価算式】 経理していない状況</p>
--	---

<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする</p>

<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき</p>
--

評価基準・根拠（産業文化会館）

2点：算式結果が「0」でないが、市からの指導により速やかに適正な処理を行ったとき
1点：算式結果が「0」でなく、市が指導しても、適正な処理が不可能なとき

- ・他の指定管理事業費や財団運営費と明確に区分の上、適正な会計処理を行っている。

<p>【評価視点】 3－（5）－② 指定管理業務に係る会計書類を、各会計年度の終了後、5年間保存しているか？</p>	<p>【評価算式】 会計書類の紛失・不明枚数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする ・実地調査を行う</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないが、その他の書類等により紛失・不明書類の内容が推測可能なとき 1点：算式結果が「0」でなく、その他の書類等からでも紛失・不明書類の内容が推測不可能なとき ・適切に管理し、保存している。会計書類の紛失・不明枚数0件</p>	

<p>【評価視点】 3－（6）－① 指定管理業務を通じて取得した個人情報を、行田市個人情報保護条例等及び個人情報取扱特記事項、財団個人情報保護規程に基づき適正に取り扱っているか？</p>	<p>【評価算式】 不適正な取扱い回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき ・不適正な取扱い回数0回 公益財団法人行田市産業・文化・スポーツいきいき財団個人情報保護規程による。</p>	

<p>【評価視点】 3－（6）－② 指定管理者が、行田市情報公開条例等及び財団情報公開規程を遵守し、情報の公開及び提供について積極的に努めているか？</p>	<p>【評価算式】 不適正な取扱い回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき</p>	

評価基準・根拠（産業文化会館）

4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき
3点：算式結果が「0」のとき
2点：算式結果が「1」のとき
1点：算式結果が「2以上」のとき

- ・市条例に準じ、財団情報公開規程を策定し、それに基づき適正かつ慎重な取扱いをしながら、積極的に情報の公開をするよう努めている。不適正な取扱い回数0回

【評価視点】 3－（6）－③ 関係する法令、条例及び規則を遵守し、適正に運営を行っているか（前記以外のもの）？	【評価算式】 不適正な取扱い回数
【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする ・実地調査を行う	
【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき	

- ・関係法令、条例及び規則を遵守し、適正に運営を行っている。不適正な取扱い回数0回

【評価視点】 3－（6）－④ 管理運営に必要な資格をもつ人員が配置されているか？	【評価算式】 配置されるべき有資格者が配置されていない数
【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする ・実地調査を行う	
【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき	

- ・配置されるべき有資格者が配置されていない数0件
 <資格等をもつ人員>
 1. 防火管理者
 2. 食品衛生管理者

【評価視点】 3－（6）－⑤ 職員の研修を研修計画にしたがって行っているか？	【評価算式】 研修実施数－職員の研修計画数
【算式資料収集方法】 ・研修実施数は指からの報告を基にする	

評価基準・根拠（産業文化会館）

・研修計画は業務計画書を基にする
 ＊研修計画はできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の研修については、前年の実績値を基準とすることもある

【点数化】

- 5点：「3点」の結果を満たし、かつ、研修成果の度合いが2事業以上、特筆すべきものがあるとき
 4点：「3点」の結果を満たし、かつ、研修成果の度合いが1事業でも特筆すべきものがあるとき
 3点：算式結果が「0」のとき
 2点：算式結果が「△1、又は、△2」のとき
 1点：「2点」の結果に満たないとき

- ・指定管理者として必要な人材を確保・育成するため、専門分野の講習会等に参加し、計画通りに職員のスキルアップを図っている。5（研修実施数）－5（職員の研修計画数）＝0
- 1.埼玉県公立文化施設協議会各種研究会
 - 2.行田市役所主催研修
 - 3.臨時職員スタッフ研修（随時）
 - 4.事業所人権教育研修会
 - 5.民間主催の職員研修

<p>【評価視点】 3－（6）－⑥ 管理内容や管理方法が申請書記載どおりに行っているか？</p>	<p>【評価算式】 不適正な取扱い回数</p>
---	--

【算式資料収集方法】

- ・把握については事業計画書と指からの報告を基にする
- ・実地調査を行う

【点数化】

- 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき
 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき
 3点：算式結果が「0」のとき
 2点：算式結果が「1」のとき
 1点：算式結果が「2以上」のとき

- ・不適正な取扱い回数0回

<p>【評価視点】 3－（6）－⑦ 利用者のトラブルの未然防止策を検討し、対処方法が適切に行われているか？</p>	<p>【評価算式】 トラブルの対処方法数－事業計画書の未然防止策の検討数</p>
--	---

【算定資料収集方法】

- ・未然防止策の確認は事業計画書と指からの報告を基にする
- ・実地調査を行う

【点数化】

- 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき
 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき
 3点：算式結果が「0」のとき
 2点：算式結果が「0」でないとき
 1点：把握をしていないとき

評価基準・根拠（産業文化会館）

・公園では、誰もが快適に過ごせるようトラブルを未然の防止策として、以下の内容を実施した。

$$5（トラブルの対処方法数） - 5（事業計画書の未然防止策の検討数） = 0$$

- 1.設備員の巡回による施設及び設備の点検
- 2.職員による不審者の有無の確認等
- 3.公立文化施設発行のトラブル対応ハンドブックの活用
- 4.受動喫煙対策の実施
- 5.受付業務のマニュアル実施
- 6.清掃員及び設備員との連携による危険箇所の共有と応急処置

<p>【評価視点】 3－（6）－⑧ 事故・火災への対策を講じているか？</p>	<p>【評価算式】 事故、火災への対策数－事業計画書の事故、火災への対策数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策数の確認は事業計画書と指からの報告を基にする ・実地調査を行う <p>*対策数はできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の対策については、前年の実績値を基準とすることもある</p>	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき</p> <p>4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「0」でないとき</p> <p>1点：把握をしていないとき</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画として掲げた内容を適切に行い、事故・火災等による施設の損傷及び人的被害のないように、次のとおり対策を講じている。 $8（事故、火災への対策数） - 8（事業計画書の事故、火災への対策数） = 0$ <ol style="list-style-type: none"> 1.法に基づく点検 2.行田市産業文化会館危機管理マニュアル整備 3.消防訓練及び避難訓練等の定期的な実施 4.緊急連絡網の整備 5.東側駐車場の植え込み付近は幅が狭いことから、車を擦らないようにする刈込剪定を実施 6.職員、清掃員、設備員が一体となり巡回時に発見された事故・火災につながるものの情報共有及び除去の実施 7.産業文化会館ホール西側道路沿いのケヤキの 剪定を実施し（車の通行に支障のないよう） 8.主催公演事業開催日には、周辺道路混雑が予想されるので警備員の配置 	
<p>【評価視点】 3－（6）－⑨ 防犯対策を講じているか？</p>	<p>【評価算式】 防犯対策数－事業計画書の防犯対策数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策数の確認は事業計画書と指からの報告を基にする ・実地調査を行う <p>*対策数はできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の対策については、</p>	

評価基準・根拠（産業文化会館）

前年の実績値を基準とすることもある
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき</p> <p>4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「0」でないとき</p> <p>1点：把握をしていないとき</p>

・事業計画として掲げた内容を適切に行い、次のとおり対策を講じている。

$$3 \text{ (防犯対策数)} - 3 \text{ (事業計画書の防犯対策数)} = 0$$

- 1.アートギャラリーについては収蔵品があることから有人警備と機械警備の両対応。また、緊急時は警備員と職員の連絡体制も整っている。
- 2.有人警備については、夜間 10 時 30 分まで常駐により防犯及び市民の時間外対応も可能。
- 3.ホールについては、範囲が広いことから舞台専門スタッフを常駐させ、巡回させることで防犯に役立っている。

【評価視点】 3－(6)－⑩ 衛生対策を講じているか？	【評価算式】 衛生対策数－事業計画書の衛生対策数
---------------------------------------	------------------------------------

【算定資料収集方法】

- ・対策数の確認は事業計画書と指からの報告を基にする
- ・実地調査を行う

*対策数はできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の対策については、前年の実績値を基準とすることもある

【点数化】

- 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき
- 4点**：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき
- 3点：算式結果が「0」のとき
- 2点：算式結果が「0」でないとき
- 1点：把握をしていないとき

・事業計画として掲げた内容を適切に行い、次のとおり対策を講じて利用環境を整えている。

$$3 \text{ (衛生対策数)} - 3 \text{ (事業計画書の衛生対策数)} = 0$$

- 1.日常清掃と特別清掃の適切な実施
- 2.年間 2 回館内の害虫駆除作業の実施
- 3.ウイルス等感染症対策として、アルコール除菌剤（手指消毒用）を館内主要個所に設置
- 4.トイレ内除菌スプレーの薬液補充実施
- 5.清掃員については、社内研修において衛生研修を実施

【評価視点】 3－(6)－⑪ 事前に市の承諾を受けずに、本業務の一部を第三者に委託し、又は請け負わせているか？	【評価算式】 承認を受けない回数
---	----------------------------

【算定資料収集方法】

- ・把握については指からの報告を基にする

【点数化】

- 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき

評価基準・根拠（産業文化会館）

4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき
3点：算式結果が「0」のとき
2点：算式結果が「1」のとき
1点：算式結果が「2以上」のとき

・承認を受け、委託している。承認を受けない回数0回

<p>【評価視点】 4－（1）－① 施設又は施設利用者に災害が生じたとき、あるいは、本業務の実施に関連して事故や災害等の緊急事態が発生した場合、速やかに必要な措置を講じるとともに、市を含む関係者に対して緊急事態の発生を旨を通報・連絡したか？</p>	<p>【評価算式】 通報・連絡しなかった回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき</p>	

・通報・連絡しなかった回数0回

<p>【評価視点】 4－（1）－② 事故等が発生した場合、市と協力して事故等の原因調査にあたったか？</p>	<p>【評価算式】 事故等の原因調査に協力しなかった回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき</p>	

・事故等の原因調査に協力しなかった回数0回

<p>【評価視点】 4－（1）－③ 不可抗力が発生した場合、不可抗力の影響を早期に除去すべく早急に対応措置をとり、不可抗力により発生する損害・損失及び増加費用を最小限にするよう努めたか？</p>	<p>【評価算式】 早急に対応措置をとらなかった回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】</p>	

評価基準・根拠（産業文化会館）

<p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき</p> <p>4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「1」のとき</p> <p>1点：算式結果が「2以上」のとき</p>

- ・早急に対応措置をとらなかった回数0回

<p>【評価視点】 4－（2）－①</p> <p>自動販売機及び公衆電話等の設置など、目的外使用にあたっては、予め市と協議するとともに、承認を得たか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>予め協議し、及び、承認を得なかった回数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・把握については指からの報告を基にする ・実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき</p> <p>4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「1」のとき</p> <p>1点：算式結果が「2以上」のとき</p>	

- ・予め協議し、及び、承認を得なかった回数0回

<p>【評価視点】 4－（3）－①</p> <p>緊急時等の対策を実施しているか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>緊急時対策数－事業計画書の緊急時対策数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策数の確認は事業計画書と指からの報告を基にする ・実地調査を行う <p>*対策数はできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の対策については、前年の実績値を基準とすることもある</p>	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき</p> <p>4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「0」でないとき</p> <p>1点：把握をしていないとき</p>	

- ・事業計画として掲げた内容を適切に行い、緊急時体制の強化に努めている。

$$4（緊急時対策数） - 4（事業計画書の緊急時対策数） = 0$$

- 1.産業文化会館危機管理マニュアル設置
- 2.ホールでの催し物開催前に影アナウンスで避難方法の放送を実施
- 3.市、消防、警察等の関係官庁との協力体制の構築及び緊急連絡網の整備
- 4.災害時における迅速な対策の実施並びに 後の被害状況確認及び報告の実施
- 5.第三者委託先と財団の間では緊急時の連絡体制が整備されている

評価基準・根拠（産業文化会館）

<p>【評価視点】 4－（4）－① 自己評価制度を実施し、改善につなげているか？</p>	<p>【評価算式】 自己評価制度実施数－事業計画書の自己評価制度実施数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・実施数の確認は事業計画書と指からの報告を基にする *実施数はできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の実施については、前年の実績値を基準とすることもある</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないとき 1点：把握をしていないとき</p>	
<p>・ 4（自己評価制度実施数）－ 4（事業計画書の自己評価制度実施数）＝ 0 1.施設の利用状況報告及び前年比較の実施 2.自己評価を作成し指定管理業務の検証 3.内部調整会議の中で進捗状況の報告及び検証の実施 4.アンケート調査を実施することで客観的な評価の実施</p>	
<p>【評価視点】 5－（1）－① 指定管理者の経営状況は良好か？</p>	<p>【評価算式】 経営状況の不安要素数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・要素数数の確認は収支（損益）計算書、貸借対照表、財産目録等を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないとき 1点：把握をしていないとき</p>	
<p>・公益財団として認められる適切な財団運営を行っており、不安要素は特にない。 経営状況の不安要素数0件</p>	
<p>【評価視点】 5－（2）－① 本業務の実施に必要な資格者及び人材を確保し、必要な研修等を行っているか？</p>	<p>【評価算式】 人材確保及び必要な研修等の実施と事業計画書の人材確保及び必要な研修等との比較</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・人材の確保と研修等の実施の確認は事業計画書と指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：収支計画書の予算の範囲内で、管理運営に支障がない体制が確保され、かつ、職員研修が計画どおりに遂行され、特筆すべき事項があると見受けられるとき 4点：収支計画書の予算の範囲内で、管理運営に支障がない体制が確保され、かつ、職員研修が計画どおりに遂行されているとき</p>	

評価基準・根拠（産業文化会館）

- | |
|---|
| <p>3点：計画どおりの管理執行体制が確保され、かつ、職員研修が計画どおりに遂行されているとき</p> <p>2点：収支計画書の予算の範囲を越え、計画どおりの管理執行体制が確保され、又は、職員研修が計画どおりに遂行されていないとき</p> <p>1点：管理執行体制の不備により、管理運営に支障が見られ、又は、職員研修が計画どおりに遂行されていないとき</p> |
|---|

・収支計画書の予算の範囲内で職員研修も計画どおり実施し、管理運営に支障がない体制（人材）も確保し計画どおり運営している。

- 1.防火管理者講習受講
- 2.清掃スタッフ：業者委託による配置
- 3.設備スタッフ：業者委託による配置
- 4.舞台技術スタッフ：業者による配置
- 5.舞台技術スタッフ研修（年1回）
- 6.清掃員研修（随時）
- 7 スタッフ研修（業務マニュアルの浸透）
- 8 民間主催の外部研修への参加